

## 今を生きる To Live in the Present.

竹内 正人  
TAKEUCHI Masato

ニュース番組の現場で働く教え子が、私の授業の参考にと、使用済みのニュース素材を見せてくれました。テロップ（静岡県用）の中に先生のお名前を発見し、慌てて Web で確認致しました。春の叙勲の公式発表から十日ほど後のことです。先生の二番弟子（一番弟子を称される方は大勢おいででしょうが、二番弟子は今のところ私ひとりです）を自認する私としては真っ先にお祝い申し上げるべきところ、不覚中の不覚でした。先生に斯様な不義理をする度に思い出すのは先生の御著書にあった一文です。

私は自分自身に「わが師ブライズ」への意識が足りなかったことを、今さらながら猛省している。自分は、先生のあのおだやかな表情、優しい瞳のうちに秘められた固い意志と燃えるような情熱をわずかなりとも受け継いだ教え子の一人ではないのか。想いと言葉と行動の合致を尊重した、先生のその精神を受け継ぐべき、精神的弟子の一人ではないのか。（上田邦義『ブライズ先生、ありがとう』三五館 2010年 p.197）

「わが師ブライズ」を「わが師上田邦義」に換えて、私の反省とさせていただきます。先生、本当におめでとうございます。

Happiness is doing what you like. Blessedness is liking what you do. (p.166 cit)

ブライズ先生のお言葉通りの上田先生の幸福の実践こそが、私が先生から頂いた最大の教えです。御受章を知った夜、不肖の弟子は家族に隠れ独り感涙に咽びました。

Human life has a meaning only if the struggle is hopeless. (p.173 cit)

身边に「絶望」の影が見え隠れする時、私はこの言葉を思い起こします。絶望と人生を切り離すことは困難でしょうが、この言葉は両者を対立させていません。妥協させてもいません。何故…という説明もありません。でも何故かこの言葉は私に生きる力を与えてくれます。

「今を生きる」ことの大切さを、私は上田先生から学びました。上記ブライズ先生の言葉もそのお考えのもとになっているのではないかと私は勝手に推っております。「竹内さん、絶望的なときこそ人生には意味があるんだよ」と、時々、上田先生は（私の心の中で）諭して下さいます。 Thank you, Professor Ueda Kuniyoshi.

(立教大学文学部・湘南工科大学工学部兼任講師)